

2014年度 日本文化人類学会

第1回理事会議事録（案）

日時：2014年5月3日（土）14時～16時10分

会場：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

出席予定者：関根、赤堀、池田、石田、上杉、春日、亀井、窪田、栗田、桑山、慶田、田中、真島、松村、山本、和崎

委任状提出：太田、岡田、岸上、湖中、瀬川、名和、松田

〔承認事項〕

1. 2014年度新旧合同理事会議事録を承認。
2. 新入会員（2名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

〔報告事項〕

1. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき3件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
 - ・国立情報学研究所の電子図書館事業の説明会に出席したことを報告。現在、本学会は電子図書館事業（CiNii）により学会誌の配信を行っているが、学協会誌電子化事業が2016年3月末で終了するため、別の配信手段やオープンアクセスへの対応等、学会誌のあり方や会計上の問題も含め対応策の検討が必要であることを確認。検討にあたっては、内容が多岐にわたるため、広報・情報化委員会のみで行うのではなく、学会誌編集委員会や会計理事等と連携しながら検討していく必要があることを確認。
2. 各種委員会報告
 - ・民博連携委員会：本学会が国立民族学博物館の部屋をセミナー等で借りる際の手続きが簡略化されたことを報告。

〔審議事項〕

1. 各種委員会の構成について
 - ・関根会長候補より、資料に基づき現時点での委員会構成及び新設の委員会に関する説明がなされ、承認された。会計補佐をおき、学会50周年記念事業会計について会計理事と連携することが説明された。
 - ・年度途中の委員追加について理事会での承認が必要であることが確認された。
2. 2013年度事業報告案・2014年度事業計画案について
 - ・松村理事より、2014年度事業計画案について説明がなされた。科研費「国際情報発信強化」の採択にともなう文言調整について説明がなされた。
3. 2013年度決算案・2014年度予算案について
 - ・赤堀理事より、2013年度決算について2014年4月23日に第25期監事の小野澤正喜、関本照夫両氏による監査が実施されたことが報告された。
 - ・赤堀理事より、2014年度予算案（本会計）の支出案について説明がなされ、承認された。将来計画基金からの引き出しについては、小泉学会50周年記念事業準備委員長より学会50周年記念国際研究大会に関する収支見込が提出され説明を受けたことが報告された。将来計画基金の他の用途も勘案し意見交換がなされた結果、金額の根拠となる資料の提出を求めたうえで、2014年度予算案において将来計画基金から引き出し金500万円を計上することが承認された。
 - ・赤堀理事より、2014年度総会において学会50周年記念事業準備委員会から4月末時点の事業に関する決算・予算（見込み）報告をしてもらうことが提案された。審議の結果、準備委員会に対して収支表の提出を要請すること、総会において準備委員から財政報告をしてもらうことが承認された。
4. 学会主催公開シンポジウムについて
 - ・真島理事より、平成26年度科学研究費補助金研究成果公開促進費「成果公開発表（B）」の不採択によ

り公開シンポジウムへの学会予算からの支出が必要になったことが説明された。2014 年度公開シンポジウム担当の亀井理事より提出されたシンポジウムの開催計画資料に基づき検討を行った結果、科学研究費補助金研究成果公開促進費の不採択時の前例にそって2014 年度に予算化すること、担当理事本務校との共催とすることが承認された。なお、各課題研究懇談会や地区研究懇談会との共催については、予算使用における問題点が指摘され、後援、協力等にとどめることとした。

5. 科研費「国際情報発信強化」採択を受けての対策室設置について
 - ・ 関根会長候補より、「国際情報発信強化」特別委員会（仮称）の設置について提案があり、審議の結果、承認された。桑山理事を委員長とし、赤堀理事、太田理事、窪田理事、栗田理事、田中理事、真島理事、松田理事、山本理事を委員とすることが承認された。
 - ・ 平成 26 年度科学研究費補助金研究成果公開促進費「国際情報発信強化(B)」の交付申請書の内容と提出については、関根会長候補と赤堀会計担当理事に一任することが承認された。
6. 50 周年記念事業準備委員会担当理事について
 - ・ 関根会長候補より、第 26 期に 50 周年記念事業準備委員会担当理事を置くことについて提案があり、審議の結果、石田理事が担当理事となることが承認された。
7. 名誉会員候補者の提案について
 - ・ 松村理事より、期限までにあらたな推薦がなかったことが報告された。「日本文化人類学会名誉会員に関する内規」の第 2 条 2 項による理事会からの候補者推薦は行わず、前回理事会で承認された日本文化人類学会名誉会員内規第二章、第 2 条の条件を満たす名誉会員候補資格者 1 名を名誉会員候補者として評議員会へ推薦することが承認された。
8. 監事候補者について
 - ・ 関根会長候補より、監事候補として加藤泰建会員、船曳建夫会員に打診し内諾を得たことが報告され、承認された。5 月 18 日開催の評議員会に諮ることとした。
9. 第 4 回三島海雲学術賞推薦依頼について
 - ・ 松村理事より、第 4 回三島海雲学術賞推薦依頼が届いたことが報告され、審議の結果、過年度と同様、JASCA-INFO を通じて学会推薦候補者の募集を実施すること、配信文案については総務会に一任することが承認された。なお、学会推薦候補選出方法についても過年度と同様の手順で行うこととした。
10. 神奈川大学常民文化研究所に関わる要望書について
 - ・ 松村理事より、神奈川大学常民文化研究所から文部科学省「平成 26 年度からの共同利用・共同研究拠点」の公募に申請するにあたり、文科省宛に本学会からの要望書提出の依頼があったことが報告され、審議の結果、本学会からの要望書を作成、提出することが承認された。
11. その他
 - ・ 石田理事より、第 48 回研究大会においては学会からの補助金 120 万円と参加費を資金としての運営が順調であることが報告された。また、50 周年記念国際研究大会との同時開催であるため会場費等の学会 50 周年記念事業準備委員会が負担している部分については、第 48 回研究大会準備委員会が応分額を負担したいとの第 48 回研究大会準備委員長からの意向が示された。審議の結果、会場費等の学会 50 周年記念事業準備委員会が負担している部分について、第 48 回研究大会準備委員会と按分することが承認された。按分にあたっては第 48 回研究大会準備委員会と 50 周年記念事業準備委員会においてそれぞれ請求書・領収書を発行すること、越年会計となるため、本件に係る収支の確定後に学会会計担当理事と監事が確認し内部監査を行うこととした。
 - ・ 2014 年度総会で黙祷を捧げる物故会員について確認を行った。
 - ・ 次回理事会は 5 月 17 日（土）。次々回以降の理事会日程についてメールで日程調整を行うことを確認した。

以上